

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成21年10月22日(2009.10.22)

【公表番号】特表2009-509748(P2009-509748A)

【公表日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-010

【出願番号】特願2008-533440(P2008-533440)

【国際特許分類】

B 0 5 C 5/00 (2006.01)

B 0 5 D 1/26 (2006.01)

B 0 5 D 3/00 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

H 0 5 K 3/34 (2006.01)

【F I】

B 0 5 C 5/00 1 0 1

B 0 5 D 1/26 Z

B 0 5 D 3/00 D

B 0 5 D 7/24 3 0 1 K

H 0 5 K 3/34 5 0 3 B

H 0 5 K 3/34 5 0 4 D

H 0 5 K 3/34 5 0 5 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月7日(2009.9.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粘性材料を噴出するためのシステムであって、
電子コントローラと、

前記電子コントローラと作動的に結合され、出口オリフィスと可動シャフトを備えたアクチュエータとを含み、かつ該アクチュエータに該出口オリフィスから粘性材料のある一定量を噴出させるために該電子コントローラの制御の下で作動する噴出分注装置と、

前記可動シャフトの移動を感知し、該感知した移動を表す出力信号を生成するように構成された変位センサと、

を含むことを特徴とするシステム。

【請求項 2】

前記変位センサは、前記出力信号を前記電子コントローラに通信するために該電子コントローラと電気接続していることを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記電子コントローラは、前記変位センサから通信された前記出力信号に対して前記可動シャフトの満足な移動を表す標準出力を比較するように構成され、かつ該比較から前記噴出分注装置の作動の変化を示すように構成されていることを特徴とする請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記出力信号は、前記可動シャフトの変位を時間の関数として表すプロファイルである

ことを特徴とする請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 5】

粘性材料を噴出するためのシステムであって、
電子コントローラと、

前記電子コントローラと作動的に結合され、出口オリフィスと空気シリンダ及び該空気シリンダ内に位置決めされた空気ピストンを備えたアクチュエータとを含み、かつ該アクチュエータに該出口オリフィスから粘性材料のある一定量を噴出させるために該電子コントローラの制御の下で作動する噴出分注装置と、

前記空気シリンダ内の流体圧を感知し、該感知した流体圧を表す出力信号を生成するように構成された圧力センサと、

を含むことを特徴とするシステム。

【請求項 6】

前記圧力センサは、前記出力信号を前記電子コントローラに通信するために該電子コントローラと電気接続していることを特徴とする請求項 5 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記電子コントローラは、前記圧力センサから通信された前記出力信号に対して前記空隙内の満足な流体圧を表す標準出力を比較するように構成され、かつ該比較から前記噴出分注装置の作動の変化を示すように構成されていることを特徴とする請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 8】

粘性材料を噴出するためのシステムであって、
電子コントローラと、

前記電子コントローラと作動的に結合され、出口オリフィスとアクチュエータを含み、かつ該アクチュエータに該出口オリフィスから粘性材料のある一定量を噴出させるために該電子コントローラの制御の下で作動する噴出分注装置と、

作動中に前記噴出分注装置の振動を感知するように構成された振動センサと、
を含むことを特徴とするシステム。

【請求項 9】

前記振動センサは、前記感知した振動を表す出力信号を生成するように更に構成されていることを特徴とする請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記振動センサは、前記出力信号を前記電子コントローラに通信するために該電子コントローラと電気接続していることを特徴とする請求項 9 に記載のシステム。